

事務事業評価票

番号	枝番号	事務事業名 地域活動支援事業	部名 教育委員会	課名 青少年センター	所属長名 垣内宏康
基本 事項 画	基本政策	03 心豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち	財 務 科 目	会計	01 一般会計
	政策	01 人間力を培う教育環境の充実		款	10 教育費
	施策	03 青少年健全育成活動の推進		項	05 社会教育費
				目	02 青少年センター費
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度		事業開始年度: 昭和59年度	完了予定年度: 未定年度	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	

事業の対象(誰に対して・何に対して) 18歳未満を中心とする青少年及び西脇市民	事業の目的(どういう状態にしたいのか) 非行防止、環境浄化を目的に活動することにより、青少年の健全育成を推進し、西脇市民が安全で安心した生活が送れる地域になる。
事業の内容(目的達成のための手段・方法)	
青少年の健全育成・非行防止などを目的として委嘱した補導委員(70名・12班編制)により西脇市青少年補導委員会を組織し、青少年センター配置の青少年指導員や学校・警察等関係機関との連携による地域巡回補導・通学路巡回・市内各種行事等での特別補導・環境浄化活動(有害玩具・有害広告物・有害図書・カラオケ店など青少年に悪影響を及ぼすものの調査指導)、子ども見守り活動(登下校時における補導委員としての個人活動)を推進していく。	
事業の概要 補助・単独: <input type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 義務実施事業 根拠法令要綱等 <input type="checkbox"/> 努力義務実施事業 根拠法令要綱等 <input checked="" type="checkbox"/> 任意実施事業 根拠条例等 西脇市青少年センター条例第3条、西脇市青少年補導委員規則 <input type="checkbox"/> 市単費上乘せ(またはの場合) 根拠条例等	
正規職員が関与すべき法的義務性 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (該当業務:) 法令名・根拠条文:	
実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他() 委託の場合: <input type="checkbox"/> 入札 <input type="checkbox"/> 随意契約(契約先:)	

総合計画・行動計画 施策シート

優先度

A B C

	平成20年度(参考)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	以降
展開方針 (年度別の事業内容)					
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
平成21年度の実施内容・成果			平成21年度の実施内容・計画どおり実施できなかった理由		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> おおむね計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> 着手しているが、計画よりも遅れている <input type="checkbox"/> 計画どおり着手していない。 <input type="checkbox"/> 完了・達成(計画事業の終了)					
確認項目			市長指示事項等		
<input type="checkbox"/> 総合計画対象事業 <input type="checkbox"/> 市長公約・懸案事項 <input type="checkbox"/> 議会確認事項					
企画政策課 意見					
			行動計画掲載 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		

		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額) (A')	千円	5,012	4,991	5,126	2,166	2,075
	特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		5,012	4,991	5,126	2,166	2,075
	事業費(決算額) (A)		4,852	4,687	4,799		
	特定財源		0	0	0		
	一般財源		4,852	4,687	4,799		
一般職員所要人員 (B)	人	0.13	0.11	0.11			
一般人件費[平均給与×(B)] (C)	千円	1,029	871	871			
総コスト[(A)+(C)] (D)	千円	5,881	5,558	5,670			
受益者負担額 (E)	千円	0	0	0			
受益者負担率[(E)/(D)] (F)	%	0.0%	0.0%	0.0%			

【1次評価】

評価実施:平成21年度

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
活動指標	名称	青少年補導委員会活動回数	目標値			120回
	実績値	122回	129回	126回		120回
	説明	補導委員会による地域補導・通学路巡回の年間延べ回数	単価	48,205円	43,085円	45,000円
(目標)	名称	青少年補導委員活動人員	目標値			550人
	実績値	518人	511人	518人		550人
	説明	地域補導・通学路巡回に参加した青少年補導委員の延べ人数	単価	11,353円	10,878円	10,946円
成果指標	名称	声かけ・情報提供数	目標値			45件
	実績値	91件	56件	48件		45件
	説明	地域補導・通学路巡回中の声かけ件数と情報提供があった件数	単価	64,626円	99,250円	118,125円
(目標)	名称	不審者情報数	目標値			10件
	実績値	18件	18件	12件		10件
	説明	市民からの不審者情報数	単価			
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	4	実施主体の妥当性	5
	直接のサービスの相手方	5	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	5
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	判断理由	<p>青少年の非行件数は減少傾向にあるもの、刑法犯少年の約8割が中高生となっており、また市内における不審者情報は声かけ事犯等12件あり、今後も補導委員による昼夜間の補導活動は必要であり、関係機関との連携強化を図る必要がある。</p> <p>最近の非行や問題行動は、学校間を超えた広域化の傾向にあり、補導委員・学校・関係機関及び近隣市町との連携がますます必要である。</p>				

【2次評価】

評価実施:平成21年度

		3	3	4
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	3
	直接のサービスの相手方	5	受益者負担の適切さ	5
総合評価	実施主体の妥当性			4
	市民ニーズの把握			3
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		
	判断理由	<p>現在の活動は、補導委員70名、12班編成で、各班月1回の巡回補導活動と地域の行事等の特別補導を行っている。青少年の非行防止のための活動であり、継続して実施する必要があるが、月1回の巡回活動で効果があるのかは疑問である。また、活動回数が増加しているにもかかわらず参加者数が減少している。地域のことは地域で守るという観点から、地域住民のボランティアなどと連携していく方法も検討の余地があると思われる。</p> <p>情報収集を行い、非行件数などの事業分析をすすめ、活動内容や活動回数を見直す必要がある。参加者数が減少している状況を考えれば、事業内容の効率化や、地域における自主防犯グループとの連携を図るなどして、今後補導委員の定数について検討する必要がある。</p>		

【3次評価】

		判断理由
総合評価	評価結果	
	改善策	